

学習課題(小学校6年生)

【図画工作】

<学習内容>

◆「墨と水から広がる世界」(教科書5・6年下10~11ページ)

(1) 墨を使って色々試すことを想像しながら、教科書10~11ページを読んでみましょう。さらに56~57ページには、墨でいろいろな感じに表す方法ものっていますので、あわせて読んでみましょう。

(2) 習字で使っている半紙と筆をつかっておもしろいもようをつくってみよう。まずは試しにいろいろやってみよう。

①墨をぽたっと落としてみる。

②すうっと線をひいてみる。

③かすれさせてかいてみる。

※水で墨をうすめたり、筆の太さを変えたりしてみよう。

※この他にもいろいろ試してみよう。

(3) いろいろ試す中から、自分の思いに合う表し方は見つかったかな？自分だけの表し方を見つけたら、いよいよ作品をつくってみよう。

※右のQRコードから参考作品を見ることもできます。



(4) 自分の作品に題名をつけてみましょう。



雪舟は、墨の濃淡だけを使って絵をかく『水墨画』で多くの作品を描きました。昔から、墨で絵をかく文化は日本にあったのですね。

※社会科でも水墨画が出てきますよ！

習字で使う大筆や小筆だけではなく、割りばしやスポンジ、はけや綿などを使って表すのもおもしろいですね。



<保護者による関わり方のポイント>※可能な範囲でお願いします。

- ・この学習では、色々試しながら、自分だけの表し方を見付けることを大切にしています。
- ・下に大きく新聞紙を敷くなど、周りが汚れないように気をつけて取り組むようお願いします。